

1. 本授業科目の基本情報			
講義名(コード)	TCM217	TCM_医療知識応用 I	
科目名(コード)	TCM217	TCM_医療知識応用 I	
対象学科	国際コミュニケーション学科		2年生
対象コース	CM2	単位数	8単位120
授業担当者	山本 樹実加	時間数	
成績評価教員	山本 樹実加		春期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。		講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	グローバル化が進む医療を中心とした分野で活躍できるようになる。 医師と患者をつなぐ日中医療通訳資格と医療事務の資格取得を目標とする。
全体の内容と概要	毎回の授業前半で、医療知識を講義する；後半で、スライドやyoutubeを見ながら、復習する。 模擬試験4回がある、一回目は全体のレベルを把握する為、他は段々レベルをアップする。
授業時間外の学修	授業の内容を拭く復習すること。
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	全体のレベルを把握する。	模擬試験形式の練習 1
2	全体のレベルを把握する。	模擬試験形式の練習 2
3	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習倫理・身体総論；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
4	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習運動系・感覚系；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
5	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習脳・神経系；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
6	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習呼吸器・循環器；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
7	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習血液・体液；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
8	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習消化器系；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
9	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習泌尿器・生殖系・小児科；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
10	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習代謝・内分泌系；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
11	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習感染症・薬；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
12	検定試験の為、復習・練習を強化する	(木曜日) 復習検査項目；(金曜日) 小テスト・ロールプレイ
13	検定試験の為、復習・練習を強化する	総復習
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	適宜用意
備考	進度は変更になることがあります。 木曜日 3, 4 限、 金曜日 3, 4 限 ・本講師は、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。本校での実務者教員